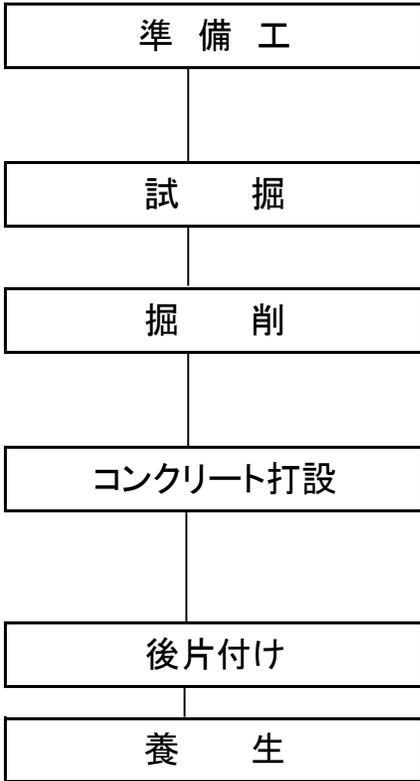


コンクリートシール工の作業手順



内 容	留 意 事 項
作業内容の確認 作業人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検	指示書の内容確認 安全作業指示書による 作業別安全チェックシートの活用。
施工箇所に埋設ケーブルが有るか、無いか、図面にて確認し有る場合は、 施工前に試掘を行う。この時、関係部署の立ち会いを受けること。	埋設管を傷つけない様に、人力にて掘削を行い、関係 部署の立ち会いを受ける。
トレーラーで搬入した重機を卸し、重機にて施工箇所の掘削を行う。ガードレ ール等を取り外し、重機を搬入し10cm掘削する。掘削後は、スコップ、ジョ レンを使い均一にならす。また掘削後の土は、ダンプにて所定の場所へ搬出 する。この時、車輛誘導を確実にを行う。また掘削した後の掘削床は、 プレートコンパクターを使用し転圧を行う。	有資格者による機械作業を行う。 重機、ダンプの誘導を確実にを行う。 ダンプへの過積載に十分注意をする。
施行箇所の掘削が終了したら、10mピッチにエラストイトを設置し、厚さ10 cmでコンクリートを打設します。この時、バイブレーターをしっかりと掛けること。 コンクリートは、C2-1を使用し仕上げは、ほうき仕上げをする。	ミキサー車等の誘導を確実にを行う。 コンクリートは、工場出荷時間より1.5時間以上経過 した物は、使用してはならない。 バイブレーターでの生コンの移動、流しは、行わない。
使用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に 竹ぼうきなどで清掃する。	使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。 はつきりかす、合材かすが無い様に、綺麗に清掃する。
型枠を入れた場合は、7日以上経ってから脱型する。また冬期の施工の 場合は、シート等の養生処置を行う。 終礼の実施	養生シートを使用する場合は、風等による飛散を防止 する。 ヒヤリハットの実施

注意事項 機械作業は、有資格者が必ず行う。
 車輛の誘導を確実にを行う。
 作業に合った保護具を使用する。